

科目名	特別研究	英語科目名	Thesis Work	
開講年度・学期	平成23年度・通年(1SD, 2SD)	対象学科・専攻・学年	専攻科複合工学専攻・電子制御工学コース・1年・2年	
授業形態	実験・実習	必修 or 選択	必修	
単位数	3単位(1SD) 11単位(2SD)	単位種類	学修単位(45h)	
担当教員	全教員	居室(もしくは所属)	電子制御工学科棟・専攻科棟	
電話	0285-20-2256(渡辺)他	E-mail	watanabe★oyama-ct.ac.jp(渡辺)他	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件
	1. 特別研究の内容を基礎、専門分野の知識を基に十分理解し主体的に実践していること。	② ③ ④ ⑤ ⑥	A-1, A-2, A-3 ○, B-1~3, D-1~3, E-1~3	a, c, f, g
	2. 特別研究において、適切で創造的な研究方法、問題解決能力、具現化能力を身につけ発揮できること。	② ③ ④ ⑤ ⑥	A-1, A-2, A-3 ○, B-1~3, D-1~3, E-1~3	a, c, f, g
3. 特別研究の内容を口頭及び論文等で適切に発表できること。	② ③ ④ ⑤ ⑥	A-1, A-2, A-3 ○, B-1~3, D-1~3, E-1~3	a, c, f, g	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1. 2. は指導教員により、特別研究期間全体を通しての達成度合いを各項目に対して評価する。 3. は指導教員及び他教員2名、計3名により、特別研究中間発表会、特別研究発表会での達成度合いを評価し、それらを特別研究の評価とする。				
評価方法				
1は30点、2は40点、3は合計で30点(指導教員10点、他教員10点×2名)の配分で各項目を評価し、合計で100点満点とする。60点以上を合格とする。				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
各学生は、配属された研究室で、指導教員からテーマを与えられ、研究を自ら自主的に進める。学生は指導教員から適時指導を受ける。 1年次3月には特別研究中間発表会で発表し、進展状況を全教員及び学生に報告する。 2年次2月には卒業研究発表会で発表し、研究結果を全教員及び学生に報告する。 平成21年度(電子系)の研究テーマ 「換気量測定機能を備える呼吸循環器系動的シミュレータの作成」(指導教員 市村) 「イメージセンサを用いる車輪の接地点検出」(指導教員 市村) 「近赤外線光の分光的画像による男女識別の基礎検討」(指導教員 西野) 「可視光と近赤外線光の分光的画像による顔抽出プログラムの作成」(指導教員 西野)	各教員により異なる。		各教員により異なる。	
	自学自習時間合計			
キーワード	研究、プレゼンテーション、創造性等。			
教科書	各研究室で指示			
参考書	各研究室で指示。自ら検索する。			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	本科、専攻科での全科目			
現学年の関連科目	本科、専攻科での全科目			
次年度以降の関連科目	特になし。			
連絡事項				
特別研究は、高専本科、専攻科での学習の総まとめと共に、社会や大学院に行ってから必要とされる様々な研究、問題解決能力やプレゼンテーション方法を学ぶものである。従って、特別研究に対しては、誠実な態度で臨む必要がある。研究時間は正規の時間割に含まれる時間以外も含まれる。受講する学生は指導教員の指示のもと、真摯な態度で研究すること。(E-mailは★を@に変えて送信してください)				
シラバス作成年月日	平成23年1月31日			